

※申請者名：株式会社南予ビージョイ・森松水産冷凍株式会社

品目：愛媛県産水産物（真珠を除く）

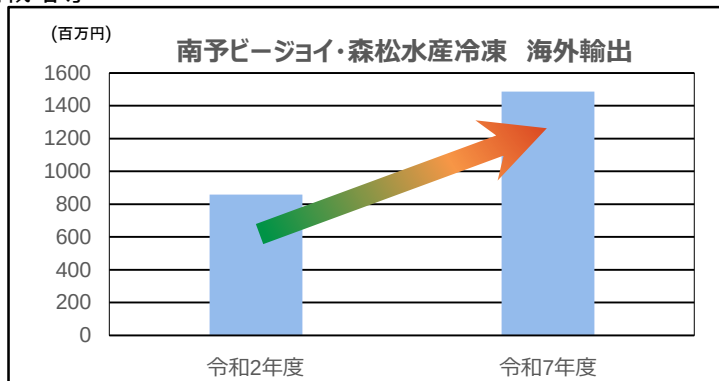
1. 輸出における現状と課題

【現状】

- 本県主力輸出商品であるブリ、マダイの生産量は全国的に近年減少傾向。
 - 人口減少、少子高齢化、魚離れなどにより水産物の国内需要は減少傾向。
 - 愛媛県の輸出は増加傾向、一方、コロナの影響による今後の販売動向を注視する必要あり。
- （背景）輸送技術の進展、食品流通の国際化、都市人口の増加、スーパー等での購入増、新興国等での食生活の変化、健康志向の高まり等
- （追い風）日本食ブーム、補助事業充実、国輸出戦略等
- （実態）北米向けブリ伸長、韓国向け活魚伸長

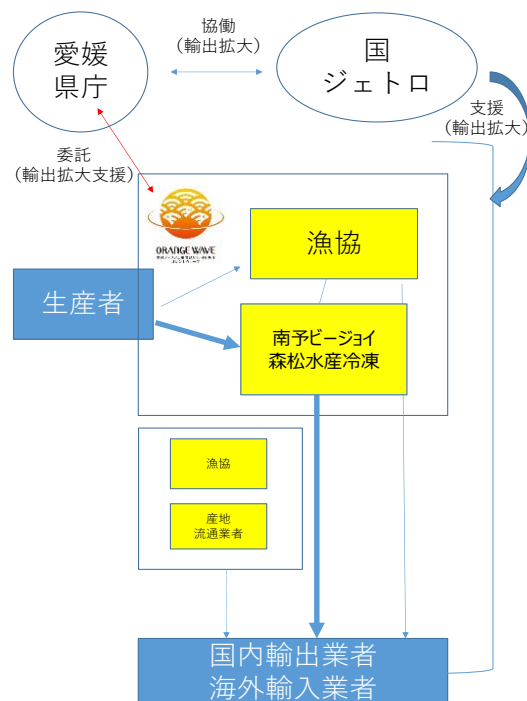
【課題】

- 輸出 ～さらなる輸出拡大に向けて～
 - ・HACCP施設の維持拡大
 - ・輸出障壁（放射性物質検査等）の撤廃
 - ・体制整備（FSMA対応等）
 - ・アイテム確保（漁業認証、戦略魚種）
 - ・認知度向上（愛育フィッシュ、EHIME JAPAN）
 - ・ビハインド（価格等）
 - ・マーケットニーズの把握



2. 輸出事業計画の取組内容

項目	対応策
HACCP輸出	・HACCP施設整備、改修 ・輸出拡大に必要な機器の整備等
輸出障壁	・輸出証明書の迅速な申請体制の整備
体制整備	・HACCPプラン実行、FSMA対応
漁業認証	・認証取得及び維持 ・現地ニーズの把握
戦略商品	・愛育フィッシュ（ブリ・マダイ）
認知度	・県プロモーション活動への参加 ・国（ジェトロ）と一体となったプロモーション活動への参加
ビハインド	・多量多品種の強みを生かした輸出 ・共同集荷輸送の検討
マーケットニーズの把握	・展示会等への参加 ・海外バイヤーやシェフ等の招聘等



オレンジウェーブを軸とした官民一体となった輸出拡大対策に取り組むこととし、国輸出戦略による拡大策と協働で愛育フィッシュの輸出を伸長。国輸出関連事業についても積極的に活用。

輸出事業計画

※申請者名：株式会社南予ビージョイ・森松水産冷凍株式会社
品目：愛媛県産水産物（真珠を除く）

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



4. 輸出目標額

ぶり	現状（令和2年度）	目標（令和7年度）	増減
輸出額	673,935千円	1,235,700千円	+ 561,765千円
輸出量	536 t	830 t	+ 294 t
輸出先国	北米・韓国・香港・アジア	北米・EU・韓国・アジア・中国・中東・中南米	中国・中東・中南米・EU

まだい	現状（令和2年度）	目標（令和7年度）	増減
輸出額	145,483千円	187,000千円	+ 41,517千円
輸出量	225 t	170 t	△55 t
輸出先国	北米・韓国・香港・アジア	北米・EU・韓国・アジア・中国・中東・中南米	中国・中東・中南米・EU

その他	現状（令和2年度）	目標（令和7年度）	増減
輸出額	31,360千円	60,000千円	+ 28,640千円
輸出量	11 t	24 t	+ 13 t
輸出先国	北米・韓国・香港・アジア	北米・EU・韓国・アジア・中国・中東・中南米	中国・中東・中南米・EU